

200608 関東一中部の収束について（五反田、ほか周辺データの収束）

五反田の長期データの完全な収束、関東で大地震発生の可能性＞

先日来、五反田の数年に渡る長期データが昨年1月に第一段階の収束、この4月に第二段階の収束をし、その後、徐々に減衰、収束を続けて、6月8日の今日現在、ほぼ収束に至る様子で、大きな地震の発生が近い、と考えられます。

最近では、茨城、千葉を震源にした M5、M4 クラスなどの地震が起きていますが これまでの五反田のデータの長さと考えられるような地震は規模が小さく、大きな地震のエネルギーは残っていると思われます。

この同じタイミングで世田谷観測点に大きな独立した1本立ちが 4本出現しました。

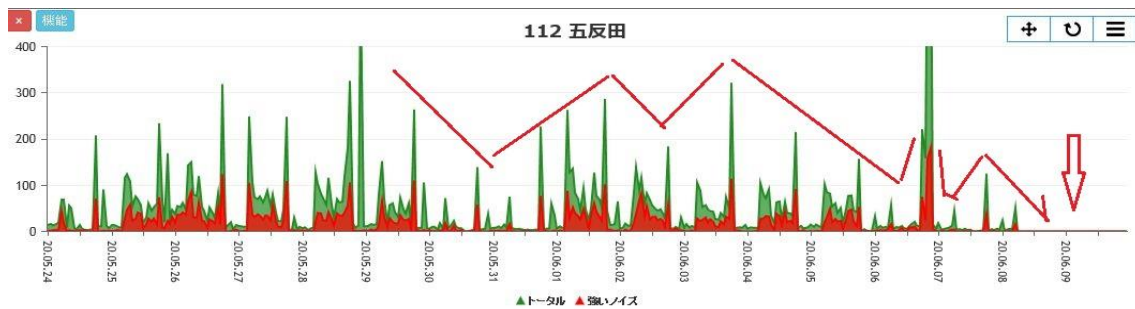
五反田のデータとは必ずしも同期しませんが 大地震の直前にこうした1本立ちが あらわれることは多く、関東周辺のデータもほぼ収束してきており、これらも大地震の前兆の可能性もあります。

以上、ここ数日は 関東直下の M6 を超える大地震の可能性があり注意が必要です。

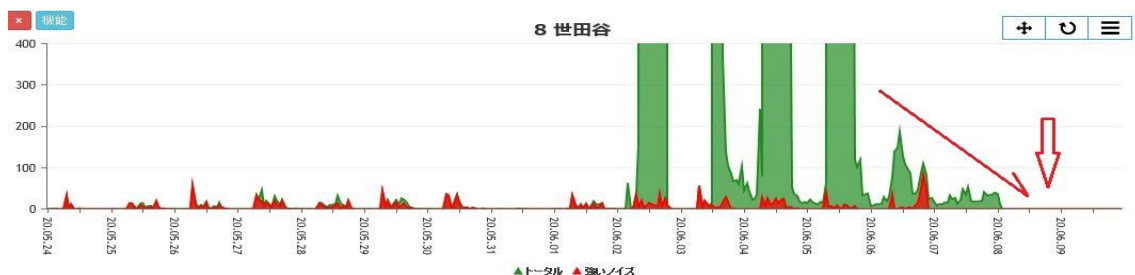
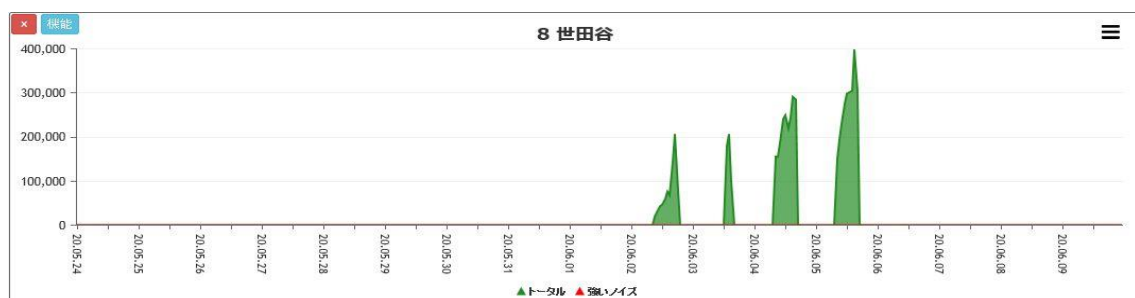
また震源は関東直下以外に、長く群発地震のあった長野中部、あるいは伊勢のデータが同期していることから三重県沖、あるいは遠州灘の可能性もあります。

<以下、6月8日月曜日の各地のデータ>

五反田 15日データ ほぼ完全な収束



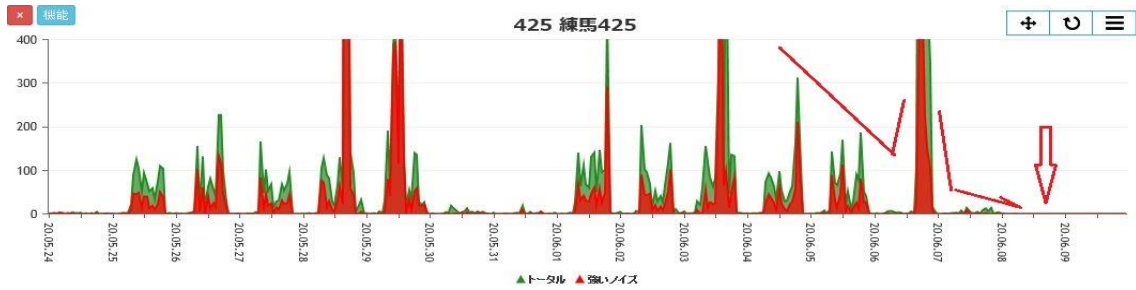
世田谷 15日データ 4本の大きな1本立ち



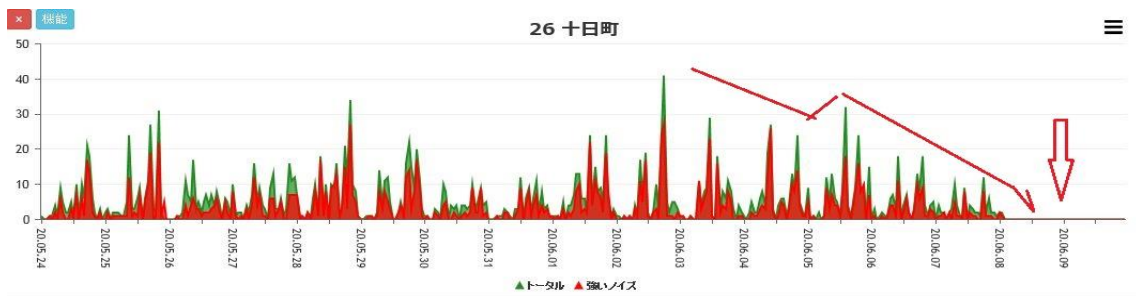
文京 15日データの収束



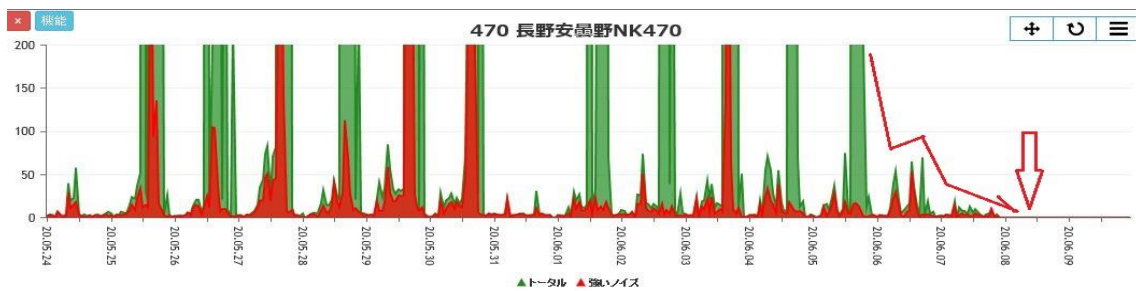
練馬 15日データの収束



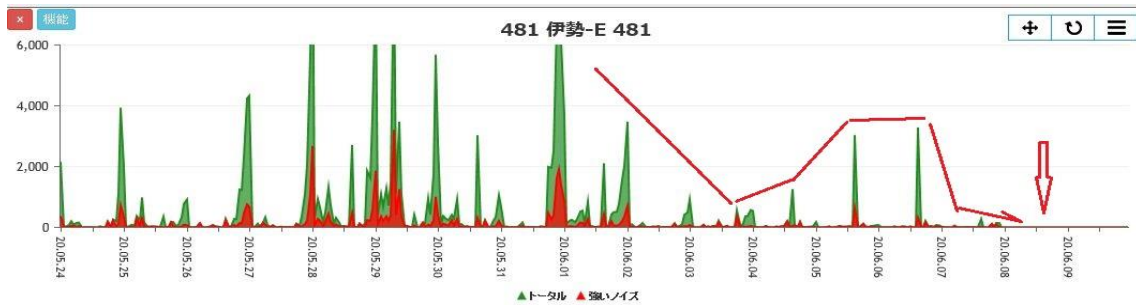
十日町 15日データの収束



安曇野 15日データの収束



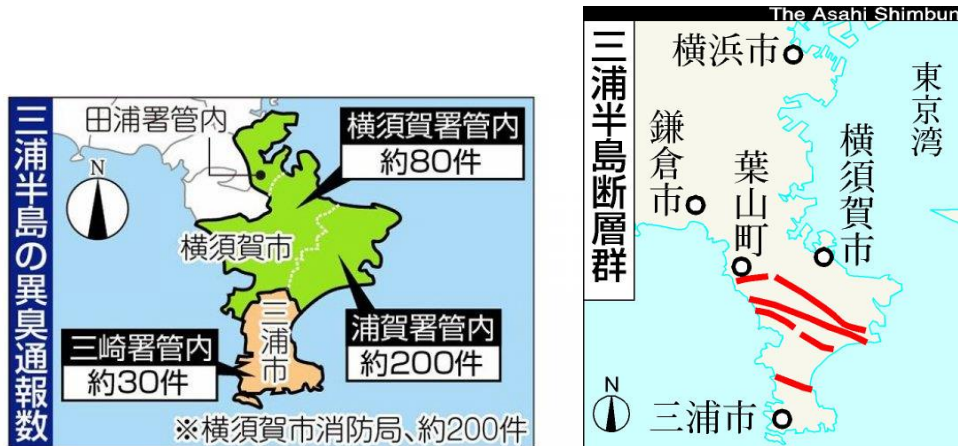
伊勢 E481 15日データの収束



その他 宏観現象について>

>6月4日三浦半島で異臭騒ぎが発生（ネット上のニュースより）

三浦半島東側の沿岸部を中心とする広い範囲で6月4日夜、異臭がするとの通報が500件以上も相次いだ。異臭騒ぎは時間とともに北上して約2時間続き、横須賀市消防局や各警察署が対応したが、原因不明のまま調査などを打ち切った。同市消防局に最初に通報が入ったのは午後8時10分ごろ。三浦市内で「ゴムが焼けたようなにおいがする」との内容だった。その後、同10時ごろまでの間に、「化学薬品」「シンナー」など表現はさまざまだが、同局のほか三崎、浦賀、横須賀署に同様の通報が殺到。「においを吸って気持ち悪い」と通報した横須賀市岩戸に住む40代女性が救急搬送されたが無事だった。



異臭関連の地図と 三浦半島の断層図

異臭と大地震の関連について>

2003年7月に宮城県の内陸で M6クラスが1日に3回起きて大きな被害になりました。当時、1か月以上前から 逆ラジオでは前兆をとらえていてなんども警告を出していましたが 発震の近くなった数日前に仙台市内の広範囲で、今回と同じような異臭騒ぎがあり 消防や警察が調べても原因不明でした。その時に異臭が通報された仙台市内等の数箇所を調べて宮城県の地図にプロットしたら 断層とほぼ重なっていて その後、数日後に宮城県内陸に M6 の地震が1日で3回来た事例があります。

ネット上では >地殻変動でニオイ発生」は常識、として 「地震や地滑りなど地殻変動に伴うにおいては、地質学の関係者では常識。大きな地震は、本震の前に小さな揺れが頻発し、この揺れで岩石が崩壊し、焦げたようなにおいが発生する。1995年の阪神・淡路大震災でも1カ月前から断続的ににおいが確認されている。三浦半島は活断層が非常に多く活断層が動いて、岩石の崩壊が重なり、まとまった“異臭波”がつくられ、南からの風に乗って北上した可能性があります」といった意見も出ています。

>5月20日～22日東京湾群発地震

5月20日～22日には東京湾を震源にした震度1以上の地震が7回続いた群発が起きておりこれも関連した宏観現象と考えられます。